

祝 卒業

旅立ちの春を迎えて

「探すことを楽しもう」 校長 五十嵐 文彦

3年次生のみなさん。ご卒業、おめでとうございます。3年間、通い続けた学び舎を後にする一抹の寂しさと、自ら選んだ道をこれから歩む期待と希望、少しの不安が絡み合った複雑な心持でいることと思います。是非、未来に向けて力強い一歩を踏み出してください。

さて、二人で行う「21」という簡単なゲームを知っているでしょうか。これは、交互に1から順番に1回で3つまでの数を言うことができ、21を言った者が負けとなるゲームです。やってみると結構面白いものです。ただ、必ず勝てる方法があり、それを知ってしまうと、知らない人を相手に反応を見て遊ぶだけという面白くないゲームになってしまいます。

勝ったら楽しい、負けたら悔しいということもありますが、どうしたら勝てるかを考えることがゲームの楽しさのもう一つの面のようにも思います。今、人気が復活してきた将棋では、必ず勝つ方法は見つかっていないと言われていますが、人工知能がプロ棋士に勝つ場面もあり、プロ棋士もエンジニアも勝ち方探しを楽しんでいると言えるような気がします。

皆さんの高校までの学習の多くは、ゲームでいうならば、勝ち方を覚え、勝つ楽しさを得ることだったとも言えます。これからの学習では、負けない勝ち方、きれいな勝ち方、個性的な勝ち方等を探し楽しさを求めてみてください。



「地元で乾杯!!」 3年次主任 西塚 寿男

多くの卒業生が生まれ育った地元や家族を離れ、新しい生活を始める。そこには新しい出会いがあり、自分の選んだ関心のある学問を学ぶ機会を得られ、将来に希望あふれるビジョンを描いているに違いない。多くのヒトが集まるところには、カネやモノ、情報が集まり、いろんな仕事や遊びができる。進学し、自己の能力を磨きあげたら、それを活かした仕事に就きたいだろう。また、稼いだお金を使って、今まで感じたことのないような体験を数多くし、趣味を満喫できるような生活を送りたいだろう。

東京一極集中が進行している。通勤地獄、狭小住宅は日常のこと、インスタ映えのために無駄に高いモノを買って、会ったことのないヒトにまで「いいね」を渴望し、楽しく儲けようと仮想通貨に手を出し、見えないカネに振り回される。生活コストは高くなり、教育・医療格差が生まれる。助け合いながら生きていくというよりは、競争を勝ち抜いた者が生き延びるといった冷たさを感じてしまう。気づいたときには孤独に陥っていないだろうか。

年を重ねるにつれ、生活の中心は学校・仕事・家族・健康へと変わっていく。若いときは世界に旅立ったとしても、いずれは地元で働き、地元で新しい家族をつくり、育った家族と助け合いながら、人の役に立ち、人の優しさを感じられる、心にゆとりのある生活が一番の幸せではないだろうか。

地元は君たちの帰りを待っている。



「成長」 卒業生 後藤理子

西高での高校生活を振り返ると、私は周りの人や環境に恵まれていると、強く感じます。上辺だけの関係ではなく、向かい合って話をしてくれる人達が、周りにはたくさんいました。それはとても幸せなことだと思います。多くの人達の考え方に触れたことが今の自分の土台となり、進路の実現につながったと思います。たくさんの経験を通じて考えるきっかけを与えてくれた西高での3年間と、私を支えてくれた人達に恥ずかしくないような生活を送りたいと思います。

3年間、ありがとうございました。



「一心精進」 卒業生 高橋亜実

私にとって西高で過ごした日々は充実し、大きく成長させてくれた3年間でした。限られた時間の中で、勉強や部活動の両立は大変でもありましたが、多くの人達に支えられてきました。目標の進学に向かって親身になって最後まで指導してくれた先生方や、学校生活や部活動でともに同じ目標に向かって共感し、掛け替えない時間を楽しみ過ごしたたくさんの仲間へ、今は感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを忘れず、今まで積み重ねてきたことを糧に、次の目標に向かっていきたいと思います。

3年間、貴重な思い出を、ありがとうございました。



HPでも公開中

<http://www.sakafanishi-hed.jp>

3年次担任団より

人生八〇年プラスアルファのうち、高校の三年間というのは最も「濃厚な」時期のひとつです。卒業するということは、「その後」幅が格段に広がるスタートでもあります。世界に羽ばたき、地域に輝く皆さんの姿を見られることを楽しみにしています。街角やどこかで会うたら、「顔は認識できても名前が思い出せないかもしれない担任のために」〇〇です！」と声をかけてくださいね。

(一組担任 井上 亮子)

卒業おめでとうございます。三年間という中で、将来を見据えて進路を決めていくという正答のない選択は、不安も悩みも尽きなかったことでしょう。一方、共に創り上げる苦労や喜び、達成感や悔しさ…温かい仲間がいなければなしえなかったことを沢山経験しましたね。それぞれの道を行く友人にエールを送り、自分で進むと決めたその道を、見失うことなくしっかりと歩んでいってください。

(二組担任 斎藤 幸子)

卒業おめでとうございます。旧一年五組も三年三組も素晴らしいクラスでした。皆さんと出会い、関わり、私自身成長できた三年間でした。ありがとう。皆さんこれから大きく成長していかなければなりません。困難に挑戦し、壁を乗り越えるために努力し、良き出合いを沢山し、一流の人や物に触れてください。感動を与える人に成長し、豊かな人生を歩むことを心から祈念しています。

(三組担任 遠藤 真介)

卒業おめでとうございます。いよいよ三年四組も解散となります。二年次の西高祭では何となく大人しい雰囲気でしたが、今年の体育祭ではそんなイメージを吹き飛ばし、見事一・二年次を先導して、「喧しい」クラスへと変貌しましたね。大人しさと喧しさを併せ持つ君たちは、今後の人生を、メリハリを持って、楽しく満喫できると信じています。いつかまた、「こ」で会いましょう！

(四組担任 船田 征位)

卒業おめでとうございます。さあ、これからが本番。酒田で培った力を存分に発揮し、人生という荒波に立ち向かっていきましょう。たった一度の人生です、最短距離を進むばかりでは面白くない。迷い、悩みながら、たくさんの事を見て、聞いて、経験してください。さすらおう、「この世界中を！素晴らしき人生を！」

(五組担任 寺崎 英之)

センター試験 激励会

センター試験前日の1月12日、受験する3年生への激励会が行われました。校長先生の激励の言葉に続く、PTA 役員を中心とした太鼓の演奏や、担任団のユーモアたっぷりの寸劇

は、試験を前日に控えて緊張した会場の空気をリラックスさせ、大いに盛り上げました。最後に各クラスの代表から「絶対合格するぞ！」という強い決意が表明されました。



生徒会除雪ボランティアに参加しました

1月27日(土)、酒田市日向地区に除雪作業に行ってきました。この作業には毎年、生徒会執行部と有志生徒が参加していますが、今年は総勢17名で参加しました。市街地とは雪の量が違い、普段除雪をしない生徒もこの日ばかりは必死に除雪をしました。全国から参加したボランティアの方々の話に耳を傾け、地域の方々の優しさに触れ、昼食交流会では甘酒やお餅をご馳走になり、充実した一日を過ごしました。



1年次 探究学習 発表会

12月21日、1年次の「探究学習発表会」が行われ、9月から医療・看護、語学・国際、政治・経済、自然科学、教育、芸術など10のゼミに分かれ、それぞれが設定した課題について調査・研究したことを、大判用紙やパワーポイントなどにまとめて発表しました。こうした研究と発表会を通して自分の志望する進路分野についての関心を高め、今後の学習へ活かすことが期待されます。この取り組みは西高生活3年間を通して行われ、2年次の発表会は2月22日に行われました。

